

I 高等部秋の祭典（10月12日）

○ ながさきピース文化祭2025

10月12日、高等部秋の祭典をお祝いするかのよう、さわやかな秋晴れのもと、高等部秋の祭典がスタートした。高等部秋の祭典は、次年度9月14日→11月30日に開催される、第40回国民文化祭、第25回障害者芸術・文化祭、愛称「ながさきピース文化祭2025」を応援する祭典にもなっている。

次年度、全国の方々に文化や芸術を通して長崎のよさやすばらしさ、長崎の人の魅力を発信できたらと願っている。本校の文化祭においても、本校のよさやすばらしさ、生徒の魅力を来賓の皆様や、地域の皆様、保護者の皆様に発信できる貴重な機会となればと願い本番を迎えた。

○ おもてなし

当日は、さわやかな秋晴れになったこともあり、多くの方にご来校いただいた。開会のあいさつで、生徒たちに二つのことを話した。

一つ目は、スローガンについて。「青春の1ページに刻め！！最高で最強の佐特の文化祭」にふさわしい祭典をみんなでつくりあげてほしい。

二つ目は、おもてなしについて。人を喜ばせる、人を笑顔にする「おもてなし」に挑戦してほしい。

体育館壁面や体育館前渡り廊下の展示や掲示物は私の心を癒してくれ、自然と笑顔にさせてくれた。生徒たちの力作に元気をもらった。

バザーや実演コーナーには、行列ができたり、あっという間に完売する製品もあつたりした。生徒が懸命に計算をしたり、宣伝したりする姿は輝いていて、多くの方を喜ばせ、笑顔にさせていた。生徒にとって、人から喜ばれる、人を笑顔にする経験は、貴重な学びになったと思う。これからも、人を喜ばせる、人を笑顔にする「おもてなし」にチャレンジしてほしい。当日は「青春の1ページに刻め！！最高で最強の佐特の文化祭」にふさわしい祭典となった。